

「京都市交通事業アクションプログラム」実施状況（平成17年度）

平成15年8月に策定した「京都市交通事業アクションプログラム」は、「ルネッサンスプラン」（平成15年度から平成20年度まで）に掲げた事業及び京都市交通事業審議会から受けた提言に関する事業などを全27項目に集約し、年度別スケジュールや目標数値等を明確にした行動計画であり、27項目全ての取組に着手済みである。

取組項目		平成17年度の主な取組内容
利用促進の取組		
1	路線・ダイヤの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道へのアクセス強化（平成18年3月） 南2号系統について地下鉄竹田駅～JR長岡京駅間を結ぶ経路に変更 ・乗継モデルの改善（平成18年3月） 27号系統について四条通以南を一方循環運行とし、運行回数を増便することにより、203号系統からの乗継利便性向上を図る。また、経路を葛野大路通（四条～御池）へ変更し、学校や商業施設へのアクセス向上を図る。 ・遅れの生じにくいダイヤ設定（平成18年3月） ア 区間ごとの運転時分の見直し イ 折待時分（往路の運行を終えた車両が復路の運行を開始するまで待機する時間）の設定の拡大 ・分かりやすいダイヤの設定（平成18年3月） ア 毎時同時刻発車や等間隔発車となるパターンダイヤの拡大 イ 利用実態に応じた運行回数設定
2	市バスの走行環境改善による定時性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・バス専用レーン確保のための全市的な取組の実施（市民への啓発に向けた取組、平成18年2月） ・お客様へのご案内と特別警戒を実施（春・秋2回で延べ870人参加） ・毎週金曜日の17時から19時まで、四条通や河原町通のバス停周辺において、職員による走行環境改善の立地啓発活動の実施
3	運賃制度の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・「市バス通勤フリー定期券」及び「市バスとくとくカード」の利用開始（平成17年4月～、「市バスとくとくカード」については平成18年1月6日をもって発売停止） ・「京都地下鉄・京阪大津線1dayチケット」の発売（期間限定：平成17年9月17日～12月4日、平成18年3月11日～6月4日） ・「市バス通勤フリー定期券」と地下鉄定期券の乗継定期券の発売開始（平成18年1月） ・「地下鉄1dayフリーチケット」の発売開始（平成18年1月） ・1,000円で1,100円分利用できる「トラフィカ京カード」1,000円券の発売開始（平成18年1月） ・地下鉄駅の自動出改札機の一部について、ICカードへの対応が可能な複数枚対応機に更新（29基設置、平成18年3月、合計90基）
4	バス停留所の設置位置の改善	現地調査及び関係機関と協議実施中
5	IT等の活用による情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの発信内容の見直しと新規情報の追加（57ページ追加） → ホームページのトップページへのアクセス数 7,506件/日 ・市バス停留所（660箇所）の時刻表に「ポケット・バスロケ」のURL情報を記録した二次元コードを表示 ・「ポケット・バスロケ」の機能アップに向けた取組として、サーバのプログラム改修を実施

取組項目		平成17年度の主な取組内容
6	案内表示の改善	地下鉄・市バス乗継案内板を地下鉄4駅（丸太町、三条京阪、京都市役所前、二条）に設置（平成18年3月、合計10駅）
7	バスロケーションシステムの増設	バスロケーションシステムを8基設置（平成18年3月、合計248基）
8	イベントの開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> ・アートパフォーマンスin山科駅を毎月1回（第2土曜日）に開催 ・各区ふれあいまつりへの参加（北区：平成17年6月、醍醐：平成17年10月） ・市の事業とのタイアップ（伝統産業の日等）
9	観光客誘致施策との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係会議体への参画（京都観光推進協議会、祇園祭宵山会議等） ・京都・花灯路事業との連携（嵐山：平成17年12月、東山：平成18年3月） ・「嵐山花灯路シャトルバス」（嵐山天龍寺前～大覚寺）の運行（平成17年12月、1日7運行） ・京都駅から東山花灯路会場まで、臨時バスの運行（平成18年3月）
付帯事業の取組		
10	地下鉄駅構内の有効利用	駅における有効利用策について検討中
11	オリジナルグッズの企画・販売	<ul style="list-style-type: none"> ・「2006スルッとKANSAI電車・バスカレンダー」700個作成（平成17年9月発売） ・「スルッとKANSAI GOGO!トレイン（京都市営地下鉄10系）」4,000個作成（平成17年10月発売）
12	広告制度のあり方の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・横枠広告販売促進キャンペーンの継続実（横枠広告扱件数対前年度比115件増） ・電照看板一括申込割引キャンペーンの実施（平成17年4月～対前年度比255枠増加） ・電照広告の空枠等を利用した無料情報誌ラックの実施拡大（平成16年3月 1駅2枠 → 平成17年3月 3駅9枠 → 平成18年3月 3駅11枠）
経営体質の強化		
13	「管理の受委託」の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・委託拡大のスケジュールを1年早め、平成19年度までに事業規模の2分の1まで委託することを決定（平成17年6月） ・梅津、西賀茂営業所における管理の受委託の受託者決定（平成17年10月） <ul style="list-style-type: none"> ＜受託事業者＞ 梅津：京阪バス 西賀茂：京都バス（平成18年度末に委託予定） ・梅津営業所における管理の受委託実施（平成18年3月11日）
14	総人件費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数 113人削減（バス・地下鉄両事業 前年5月1日比較） ・平成16年度決算に対する平成17年度決算での人件費の削減（退職手当除く） バス・地下鉄（損益）△807百万円
15	経費の削減	平成14年度予算に対する平成18年度予算での削減状況 （経費削減見込額） バス △333百万円 地下鉄 △488百万円
16	定期観光バス事業の見直し	定期観光バス事業の利用促進策について検討中
財政構造の強化		
17	「生活交通」（生活支援路線）の確保方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都のバス事業を考える会」からの最終答申（平成17年4月） ・「小型バス・ジャンボタクシー代替モデル実証実験」の開始（平成17年7月） ・「生活支援路線」に対する一般会計補助金の確保（平成16年度～、平成17年度決算 1,054百万円）

取組項目		平成17年度の主な取組内容
18	地下鉄事業の長期収支改善	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄事業経営健全化計画の実施（平成16年度～，平成17年度における一般会計出資金（決算：6,739百万円）） 地下鉄運賃改定の実施（初乗り運賃 200円→210円，改定率7.4%，平成18年1月7日） 東西線線路使用料を66億円→55億円へ見直し（平成16年度～）
職員の意識改革		
19	職員研修の充実と意識改革	<ul style="list-style-type: none"> 所属研修（全職員対象）の実施（受講者数 2,085人） 体験実習を取り入れた研修の実施（受講者数 2,597人） 目標管理制度の導入 <ul style="list-style-type: none"> 15年度…課長級職員を対象に評価を実施し，夏期手当にて反映 16年度…課長級，課長補佐級及び係長級職員を対象に評価を実施したが，夏期手当への反映方法等に問題が生じたため，夏期手当への反映をせず。 17年度…過去2箇年の実施結果を踏まえて，目標の難易度の設定や達成度の評価基準など，評価手法等の改善について検討中
市民とのパートナーシップ		
20	情報公開と市民理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度交通局運営方針の公表（平成17年5月） 「京都市交通事業アクションプログラム」（平成16年度）実施状況の公表（平成17年9月） 「京都市交通事業事務事業評価」（平成16年度事業）の結果報告（平成18年3月）
21	市民とのパートナーシップの推進	<ul style="list-style-type: none"> 交通局ホームページでの「お客様の声」の募集（平成17年3月） 「市政情報総合案内コールセンター」へ参画（平成18年1月）
公共交通優先型の交通体系の形成		
22	TDM施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度嵐山等観光地交通対策及び東山交通社会実験（パーク&ライド等）へ参加（平成17年5月，11月） 「東山シャトルバス」（京都駅～五条坂）の運行（平成17年5月，11月）
23	公共交通の社会基盤整備	公共施設型バスロケーションシステムを設置いただける可能性のある対象施設の有無等について，関係各局へ照会（平成18年3月）
人や環境にやさしい公共交通		
24	バリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ノンステップバス96両の導入（平成18年3月，合計354両，全体の約47%） ノンステップバスに適合したバス停留所への改善（24箇所） 地下鉄4駅のトイレをオストメイトの方にもご利用いただける多目的トイレへ改修（平成18年3月） 四条駅と阪急烏丸駅との連絡通路に階段昇降機を設置（平成18年3月）
25	市バス車両の低公害化	<ul style="list-style-type: none"> 天然ガスバス3両導入（平成18年3月，合計33両） アイドリングストップバス93両導入（平成18年3月，合計375両-定期観光バス4両を含む） D P F（黒煙等減少装置）を12両に装着（合計40両） バイオディーゼル燃料使用量 約207,000リットル
26	地下鉄の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 定期教育訓練の実施 車両間転落防止装置の設置（2編成，全編成完了） 更なる火災対策として防火扉を設置（2駅）
地下鉄の延伸		
27	地下鉄東西線の延伸	二条～天神川間の延伸（平成19年度中開通予定） <ul style="list-style-type: none"> ア 駅舎構築工事の実施 全区間のトンネル貫通（平成17年12月） イ 総建設費220億円の削減を達成（当初745億円→525億円）